

モニタリング調査結果

種名： ヒメニラ

調査者： 特定非営利活動法人境川の斜面緑地を守る会

調査地： 上鶴間

調査期間	気づいたこと
2018年1月 ~2018年4月	調査対象エリアで48個の開花を確認した。1本の茎に3個の花を付けた株もあった。試験的にスゲを抜いた場所で多数のヒメニラの葉を確認した。また落葉が厚い場所では発芽が遅れ開花できないようだ。親鱗茎からストロンで養分を移動させながら娘鱗茎を作って葉や花を展開し、来年の鱗茎を残すことが分かった。
2019年1月 ~2019年4月	調査対象エリアで21個の開花を確認したが、昨年に比べて半減した。通常なら花を付ける2枚葉でも花を付けていないものが多かった。1株だけ1本の花茎に2個の花を付けていたが、雄蕊は無く雌性花だった。
2020年1月 ~2020年4月	調査対象エリアで35個の開花を確認し、昨年に比べ開花数は若干多い。1本の花茎に2個の花を付けた個体にも雄蕊はなく雌性花だった。全体的にアズマイチゲ、ニリンソウ、イチリンソウの群生に圧迫されている。その隙間でヒメニラの葉が確認されるような場所では、競合するハナウド、ノビルなどを除去した。